令和２年(2020)年１１月１８日発行

# くろかわ

学校だより
第３６１号
小来川小中学校

## 「命を考える」

小来川小中学校長

十一月の初めに読書週間がありました。その中で、読み聞かせをする時間を設定していただき、小学生に何冊かの本を読みました。テーマは「命」です。その中で、「電池が切れるまで」という本から「命」という詩を紹介しました。「命」は、長い闘病生活の末に短い生涯を終えた十一歳の女の子が、亡くなる四か月前に書いた詩です。その一部を紹介します。

「命はとても大切だ 人間が生きていくための電池みたいだ でも電池はいつか切れる 命もいつかはなくなる 電池はすぐにとりかえられるけど 命はそう簡単にはとりかえられない」

生きたいという気持ちがまっすぐに伝わる詩でした。長野県立こども病院の院内学級で学ぶ子どもたちの詩と絵は、私達の心にまっすぐに響いてきたように感じました。

現在は、コロナ禍という思うように生活できないもどかしさを感じています。様々な場面で、今までの当たり前が失われています。学校生活も同様です。こんな時だからこそ、日常の生活を無事に過ごすことができていることが、本当にありがたいことであると、改めて確認することができました。

学校では、予定していた行事も、中止や変更になったものもあります。でも、修学旅行などの校外学習の一部が再開されました。学校でも日常のありがたさをしみじみと感じています。

## 本校の読書活動について

中学校図書館主任

「道楽」という言葉があります。本業以外の楽しみのことですが、道楽が過ぎれば自他共に悪影響があります。しかしながら、「読書」ほど、どんなにのめり込んでも悪影響がないばかりか、むしろ熱中することを推奨される道楽は珍しいのではないのでしょうか。

本校でも読書活動を推進しております。そこで、今号の「くろかわ」では、本校の読書に関する取り組みをご報告いたします。

〔読書週間〕

十一月二日から六日を読書週間として設定しました。児童生徒は、読んだ本について、題名や内容などを記録シートに記入しました。読書内容を記録し、後から振り返ることは、とても有意義なことです。また、四日には小学生を対象に読み聞かせ会が行われました。吉田教頭先生の読み聞かせを聞いた小学一年生は、「めちゃめちゃたのしかった」と喜んでいました。

〔図書ボランティア〕

本校の読書活動を支えてくださっているのが、地域の有志の方々からなる図書ボランティアさんです。新刊図書の受け入れ、図書コーナーの設置など、図書室の整備を、一手に引き受けてくださっています。図書室の飾りつけを見て、小学五年生は「季節を感じられていい」と話していました。

最後に、読書にまつわる言葉を一つ御紹介します。

○読書の時間を大切にしなさい。一冊の本との出会いがあなたの生き方を変えてくれることだってあります。（ジョセフ・マーフィー）

## 社会科見学に行って

小六年

ぼくは十月二十八日に社会科見学に行きました。最初に埋蔵文化センターに行きました。

そこでは、この後に行く古墳の説明や埴輪、土器など、古墳時代の説明を受けました。センターの方と土偶の考察をしたり、歴史の知識を深めたりして、楽しかったです。琵琶塚古墳では、実物を見たり登ったりして、あらためてスケールの大きさを実感しました。その後に、摩利支天塚古墳に行きました。ちょうど発掘をしており、調査の様子を運良く見られました。土器などが頭を出している所を見たのは初めてなので、とても嬉しかったです。下野薬師寺歴史館では、ＶＲを使って当時の薬師寺を復元した３Ｄモデルを、実際の景色と合わせてみることができ、わかりやすく学習できました。



【過去に向けた真剣なまなざし】

## 宿泊学習の思い出

小四年

ぼくが宿泊学習で一番思い出に残っていることは、キャンプファイヤーとウォークラリーです。キャンプファイヤーでは、中宮祠小チームと小来川小チームでお互いに出し物を発表しました。中宮祠小チームは問題を出して、小来川小チームはジェスチャーゲームをしてキャンプファイヤーを盛り上げました。

ウォークラリーでは、三時間以上かかったけど、あきらめずに歩ききることができました。すごく疲れたけど楽しかったです。宿泊学習を通してみんなと協力することの大切さを学びました。



【楽しかったウォークラリー】

## 生かつか見学

小一年

わたしは、生かつか見学で、としょかんとだいや川こうえんにいきました。

としょかんにあるのは、本だけだとおもっていましたが、ＤＶＤとＣＤもあることがよくわかりました。大人の本も子どもの本もいっぱいあってびっくりしました。

だいや川こうえんでみんなといっしょにたんけんをしていたら、きいろいはっぱを見つけました。うれしかったです。すこしだけどんぐりをひろえました。くるみも見つけました。

## 充実した学校生活に向けて

中学二年

中学校生活も半分が過ぎました。そこで、今までの中学校生活を振り返りたいと思います。

〔中学校一年―遠足〕

栃木とは異なる、大勢の人が居る街に驚きを感じました。見たことのない動物をたくさん見られて、楽しかったです。

〔中学校一年―文化祭〕

上級生と一緒に、文化祭を一から作り上げました。みんなからほめられたことがとても嬉しかったです。

〔中学校二年―運動会〕

コロナ禍のなか、地域の方とできなかったことは残念です。小学生と協力して盛り上げることができたので、来年はこの体験を活かしたいと思います。

あと半年で中学校三年生となります。残りの中学校生活をいっそう充実させるために、次のことを頑張りたいと思います。

①みんなが楽しめる運動会にする。

来年は最後の運動会です。最上級生として、中学生や小学生と協力しながら、思い出に残る運動会にしたいです。

②よりよい進路のために学習する。

学活の時間では、おもに進路学習に取り組んでいます。上級学校調べや、自己の適正を見つめ直す学習を通して、悔いのない進路選択をしたいと思います。

### ホームページも御覧ください

小来川小中学校のホームページが、十一月十日（火）からリニューアルされました。より見やすくわかりやすくなりましたので、パソコン、スマホ等から御覧になってください。

## 《多目的教室カーペット張替完了》



市費に加え、資源物回収の収益金や小来川教育振興会様からの御協力により、多目的教室のカーペットを張り替えることができました。行事等で、とても心地よく使用することができています。ありがとうございました。

## 《校歌の書を寄贈》



十月十六日に宮小来川在住の方から、小来川小学校校歌、小来川中学校校歌の書をそれぞれ、寄贈していただきました。職員玄関に掲示させていただいております。御来校の際には、是非御覧ください。

## 《わが家のスマホルール募集》

日光市ＰＴＡ連絡協議会より、わが家のスマホルールの募集がありました。ふるって御応募をお願いいたします。

# 一求

小来川小中学校

**PTA 通信**

小来川小中学校

PTA 活動部